農地情報管理システム
受益面積集計システム

取扱説明書

日本精測株式会社

目　　次

農地情報管理システム１（起動メニュー） ---- 3
農地情報管理システム２（ディレクトリパス設定） ---- 4
農地情報管理システム３（CAD起動） ---- 4
農地情報管理システム４（農地情報管理システムVer.4のスタートメニュー） ---- 5
農地情報管理システム５（パスワード入力） ---- 5
農地情報管理システム６（メインプログラム） ---- 6
農地情報管理システム７（ＸＹ座標値取得） ---- 6
農地情報管理システム８（CAD編集用プログラム） ---- 6
農地情報管理システム９（抽出内容設定） ---- 7
農地情報管理システム10（検索結果） ---- 8
農地情報管理システム11（抽出結果 通常表示） ---- 9
農地情報管理システム12（抽出結果 最大化表示） ---- 10
農地情報管理システム13-1（主題図作成１） ---- 11
農地情報管理システム13-2（主題図作成２） ---- 12
農地情報管理システム14（抽出結果一括塗り） ---- 13
農地情報管理システム15-1（文字割付け１） ---- 14
農地情報管理システム15-2（文字割付け２） ---- 15
農地情報管理システム16（単票形式筆一覧表） ---- 16
農地情報管理システム17（図形属性名チェック） ---- 17

受益面積集計システム１（メインプログラム） ---- 18
　生データの一覧 ---- 19
　抽出範囲出力、全体出力の選択 ---- 20
　市町村の選択 ---- 21
　現況、計画の選択 ---- 22
　様式４、５、６（土壌区分別編） ---- 23
　現況及び計画減水深の選択 ---- 24

図割の表示 ---- 25
県内位置図の表示 ---- 25

付表１：大字名、字名 一覧表
付表２：地形図ﾚｲﾔ別ﾃﾞｰﾀ内容一覧
付表３：データリスト一覧表

農地情報管理システム１（起動メニュー）

ＰＣのデスクトップ上に表示されている「行政Pro Ver.4」というアイコンをダブルクリックすると、右のようなシステム起動プログラムが表示されます。

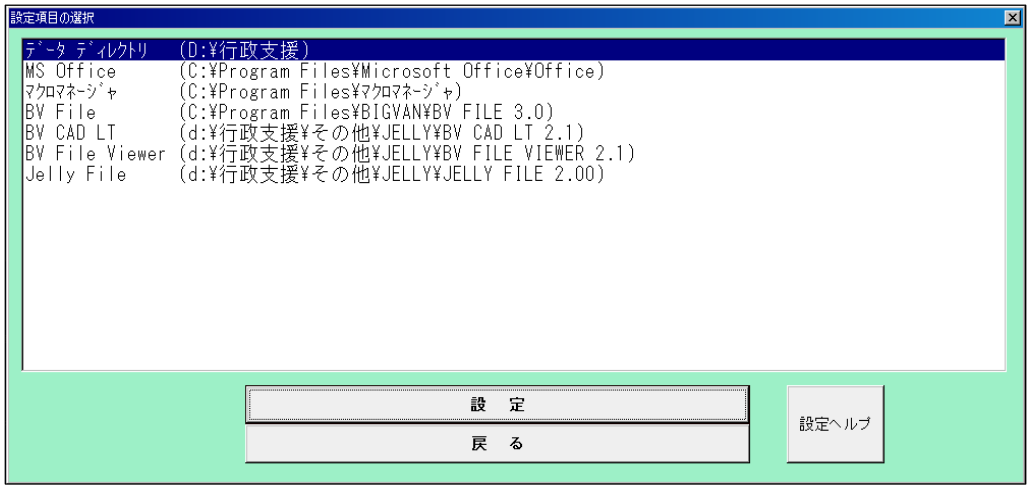
①「データディレクトリ設定」ボタンを押すと、システム２
②「使用CAD起動」ボタンを押すと、システム３
③「農地情報管理ｼｽﾃﾑ」ボタンを押すと、システム４
にそれぞれ移動します。

④「履歴表示」ボタンを押すと、起動履歴一覧が表示されます。
⑤「終了」ボタンを押すと、システムを終了します。

農地情報管理システム２（ディレクトリパス設定）

システムに必要なデータ及びCADプログラムのパスを設定します。

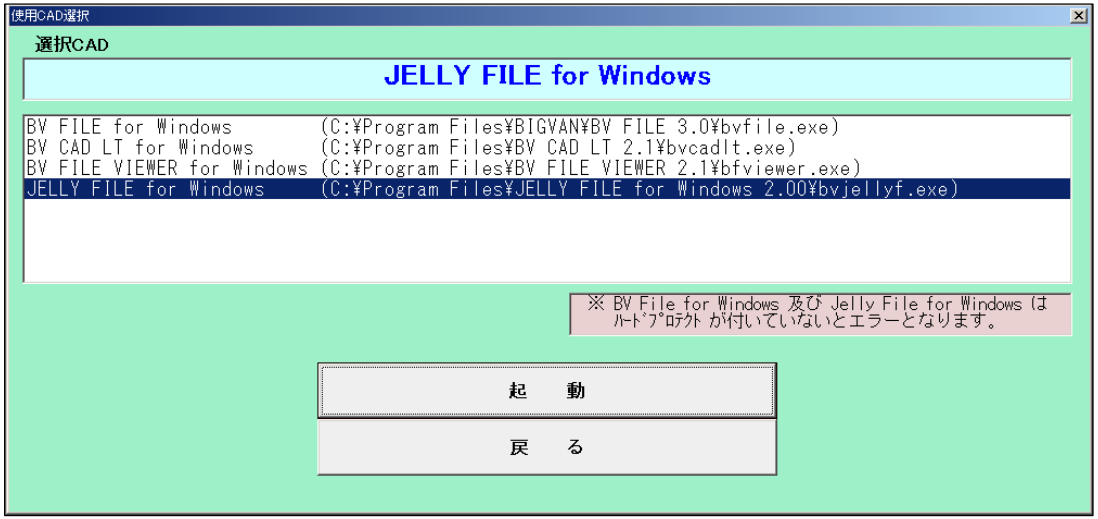
①ﾃﾞｰﾀﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ：行政支援の入っているパスを設定します。
②MS Office：ﾏｲｸﾛｿﾌﾄ ｵﾌｨｽの入っているパスを設定します。
③ﾏｸﾛﾏﾈｰｼﾞｬ：ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ言語のﾏｸﾛﾏﾈｰｼﾞｬのパスを設定します。
④BV File：BV File(CAD)のパスを設定します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ必要　編集可能　ﾗｽﾀｰ表示可能）
⑤BV CAD LT(CAD)のパスを設定します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ不要　編集可能　ﾗｽﾀｰ表示不可）
⑥BV File Viewer(CAD Viewer)のパスを設定します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ不要　表示印刷のみ　ﾗｽﾀｰ表示可能）
⑦Jelly File(CAD)のパスを設定します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ必要　編集可能　ﾗｽﾀｰ表示可能）
⑧「戻る」を押すと、システム１に戻ります。



農地情報管理システム３（CAD起動）

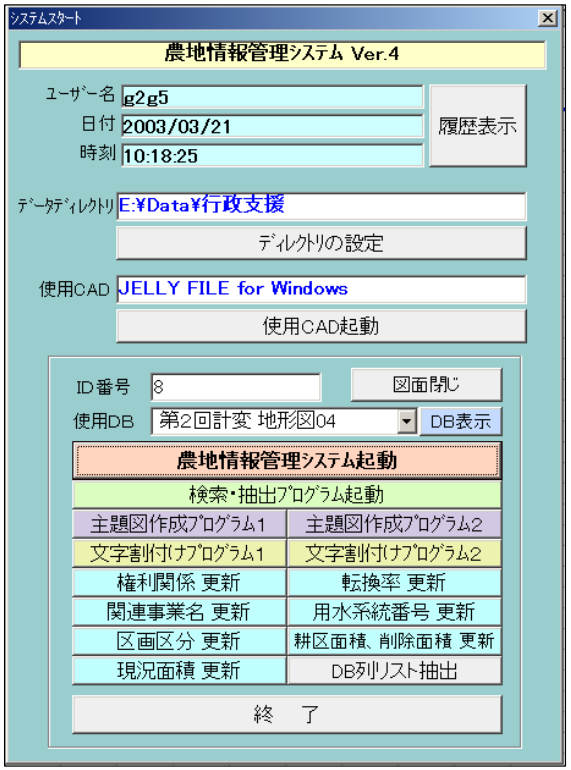
選択したCADプログラムを起動します。

①BV File for Windows：BV Fileを起動します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ必要）
②BV CAD LT for Windowsを起動します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ不要）
③BV File Viewer for Windowsを起動します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ不要）
④Jelly File for Windowsを設定します。
（ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ必要）
⑤「戻る」を押すと、システム１に戻ります。


使用CAD選択
選択CAD
JELLY FILE for Windows
BV FILE for Windows (C:¥Program Files¥BIGVAN¥BV FILE 3.0¥bvfile.exe)
BV CAD LT for Windows (C:¥Program Files¥BV CAD LT 2.1¥bvcadlt.exe)
BV FILE VIEWER for Windows (C:¥Program Files¥BV FILE VIEWER 2.1¥bfviewer.exe)
JELLY FILE for Windows (C:¥Program Files¥JELLY FILE for Windows 2.00¥bvjellyf.exe)
※ BV File for Windows 及び Jelly File for Windows は
ﾊｰﾄﾞﾌﾟﾛﾃｸﾄ が付いていないとエラーとなります。
起　動
戻　る

農地情報管理システム４（農地情報管理システムVer.4のスタートメニュー）

農地情報管理システムVer.4のスタートメニューです。



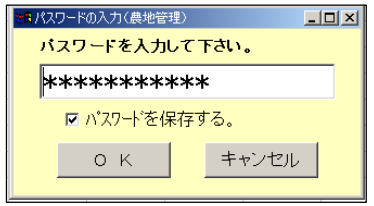
①「データディレクトリ設定」ボタンを押すと、システム２
②「使用CAD起動」ボタンを押すと、システム３
③「履歴表示」ボタンを押すと、起動履歴一覧が表示されます。
④「図面閉じ」ボタンを押すと現在CAD上に開かれている図面を閉じます。
⑤「DB表示」ボタンを押すと、選択した面積集計システムを起動します。
⑥「農地情報管理ｼｽﾃﾑ」ボタンを押すと、システム５に移動します。
⑦「検索・抽出ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ起動」ボタンを押すと、システム９に移動します。
⑧「主題図作成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ１」ボタンを押すと、システム13-1に移動します。
⑨「主題図作成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ２」ボタンを押すと、システム13-2に移動します。
⑩「文字割付けﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ１」ボタンを押すと、システム15-1に移動します。
⑪「文字割付けﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ２」ボタンを押すと、システム15-2に移動します。
⑫「権利関係 更新」ボタンを押すと、権利関係ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑬「転換率 更新」ボタンを押すと、転換率ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑭「関連事業名 更新」ボタンを押すと、関連事業名ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑮「用水系統番号 更新」ボタンを押すと、用水系統番号ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑯「区画区分 更新」ボタンを押すと、区画区分ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑰「耕区面積、削除面積 更新」ボタンを押すと、耕区面積､削除面積ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します
⑱「現況面積 更新」ボタンを押すと、現況面積ﾃﾞｰﾀ更新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑲「DB列ﾘｽﾄ抽出」ボタンを押すと、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの列ﾘｽﾄを抽出するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを起動します。
⑳「終了」ボタンを押すと、システム１に戻ります。

上記ボタンを押す前に、使用ＤＢ欄のデータベースを設定します。

１）当初計画データベース
２）第１回計画変更データベース
３）第２回計画変更データベース
４）第２回計画変更　地形図ごと分割データベース（地形図01～17）

農地情報管理システム５（パスワード入力）

農地情報管理システムVer.4を起動するパスワードを入力します。



①「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを保存する。」にﾁｪｯｸを付けておくと、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが
保存され入力不要です。
②「OK」ボタンを押すと、システム６に移動します。
③「キャンセル」ボタンを押すと、システム４に戻ります。

（※パスワードは、noutikannri　に設定されています）

農地情報管理システム６（メインプログラム）

農地情報管理システムVer.4のメインプログラムです。

①筆番号にIDを入力し「指定」ボタンをおすと、そのIDに移動します。

②「←」ボタンを押すと、前のIDに移動します。

③「→」ボタンを押すと、次のIDに移動します。

③拡大率を設定し「筆表示」ボタンを押すと、その拡大率で表示します。

④「前指定」を押すと、前に指定したIDに移動します。

⑤「検索・抽出」を押すと、システム９へ移動します。

⑥「筆指定」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸすると、その筆に移動します。

⑦「筆内容」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸすると、その筆のCAD情報が表示されます。

⑧分筆･合筆ﾃｷｽﾄわきの「指定」ボタンを押すと、ﾃｷｽﾄ内に記述されている筆に移動します。

⑨地図切替ﾌｫｰﾑ内の各種ﾚｲﾔﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付け「表示切替」を押すと、ﾁｪｯｸを付けたﾚｲﾔ設定で表示します。

⑩「ﾚｺｰﾄﾞ更新」を押すと、表示筆の情報を更新します。

⑪「DB表示」を押すと、使用しているﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽを表示します。

⑫図面欄の図面種類を選択し「図面切替」ﾎﾞﾀﾝで切替わります。

⑬「詳細機能」を押すと、システム８を起動します。

⑭「主題図」を押すと、システム13-1へ移動します。

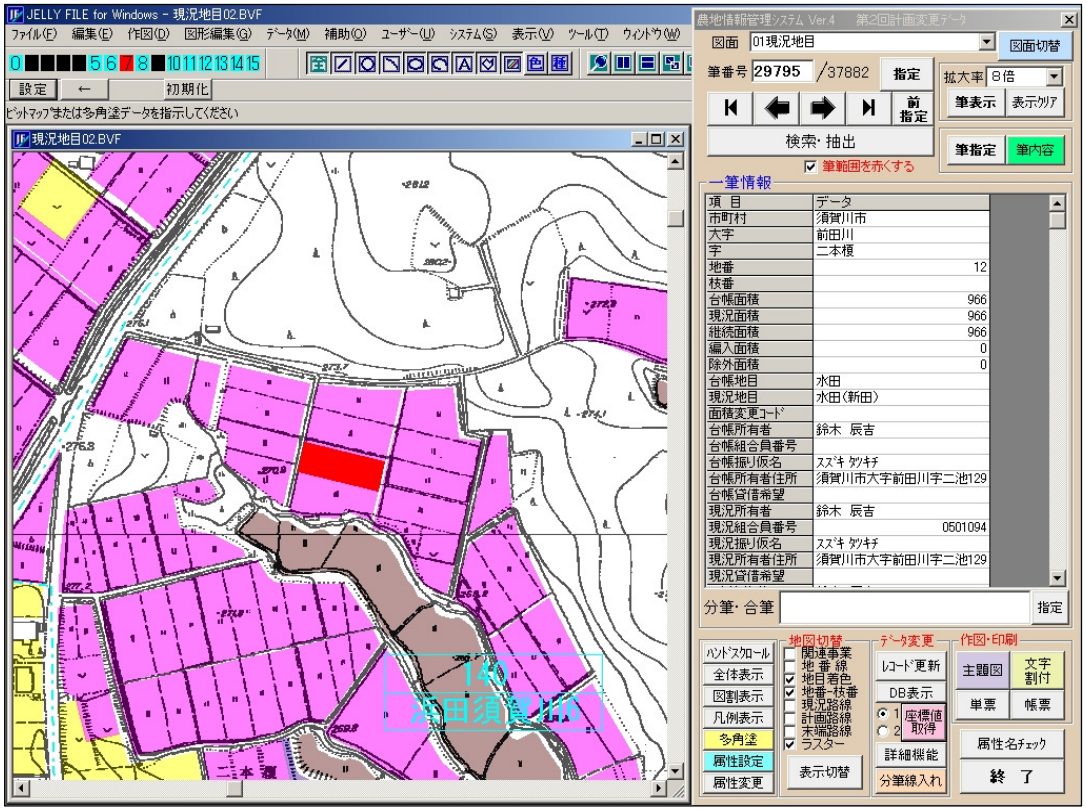
⑮「文字割付」を押すと、システム15-1へ移動します。

⑯「単票」を押すと、システム16へ移動します。

⑰「帳票」を押すと、受益面積集計システム１へ移動します。

⑱「属性名ﾁｪｯｸ」を押すと、システム17へ移動します。

⑲「終了」を押すと、システム４に戻ります。



※「座標値取得」ボタンの前のｵﾌﾟｼｮﾝﾎﾞﾀﾝを１に設定し、「座標値取得」ﾎﾞﾀﾝを押すとシステム７へ２に設定し「座標値取得」ﾎﾞﾀﾝを押すと取得座標値を直接ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ内に自動入力します。

農地情報管理システム７（ＸＹ座標値取得）

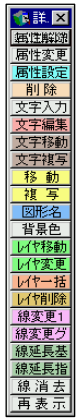
CADからXY座標値を取得するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑです。

①座標系、単位系、少数点数、初期増減値　を設定し「点指定」ボタンを押し、CADの任意の点をクリックすると、その点のＸＹ座標値が取得されます。

※初期増減値のX、Yに値を入力すると、その値と取得した値をプラスした値が表示されます。

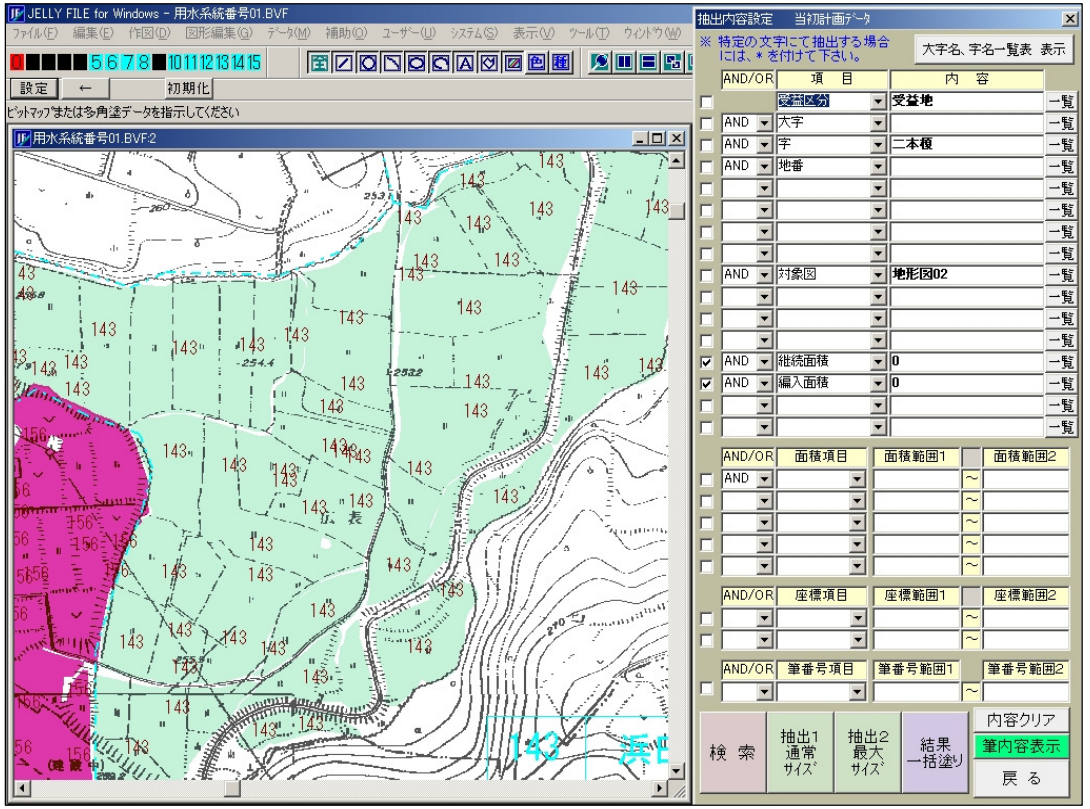
農地情報管理システム８（CAD編集用プログラム）

CAD編集に必要なボタンがまとめられています。



農地情報管理システム９（抽出内容設定）

抽出内容について設定するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑです。



①プログラム左側のチェックボックスにチェックがついている項目に対して抽出･検索を行います。

②抽出する項目をドロップダウンリストの中から選択します。

③項目に対応するデータの抽出内容を内容欄に記述します。

④「一覧」ボタンを押すと、項目欄で選択した項目の内容一覧が表示されます。

⑤面積に関する項目について、抽出したい場合は、面積項目欄で選択し、抽出する面積の範囲を面積範囲１及び面積範囲２に入力します。

⑥座標に関する項目について、抽出したい場合は、座標項目欄で選択し、抽出する座標の範囲を座標範囲１及び座標範囲２に入力します。

⑦ID番号に関する項目について、抽出したい場合は、筆番号項目欄で選択し、抽出するIDの範囲を筆番号範囲１及び筆番号範囲２に入力します。

⑧「検索」ボタンで、システム10

⑨「抽出１通常ｻｲｽﾞ」ボタンで、システム11

⑩「抽出２最大ｻｲｽﾞ」ボタンで、システム12

⑪「結果一括塗り」ボタンで、システム14

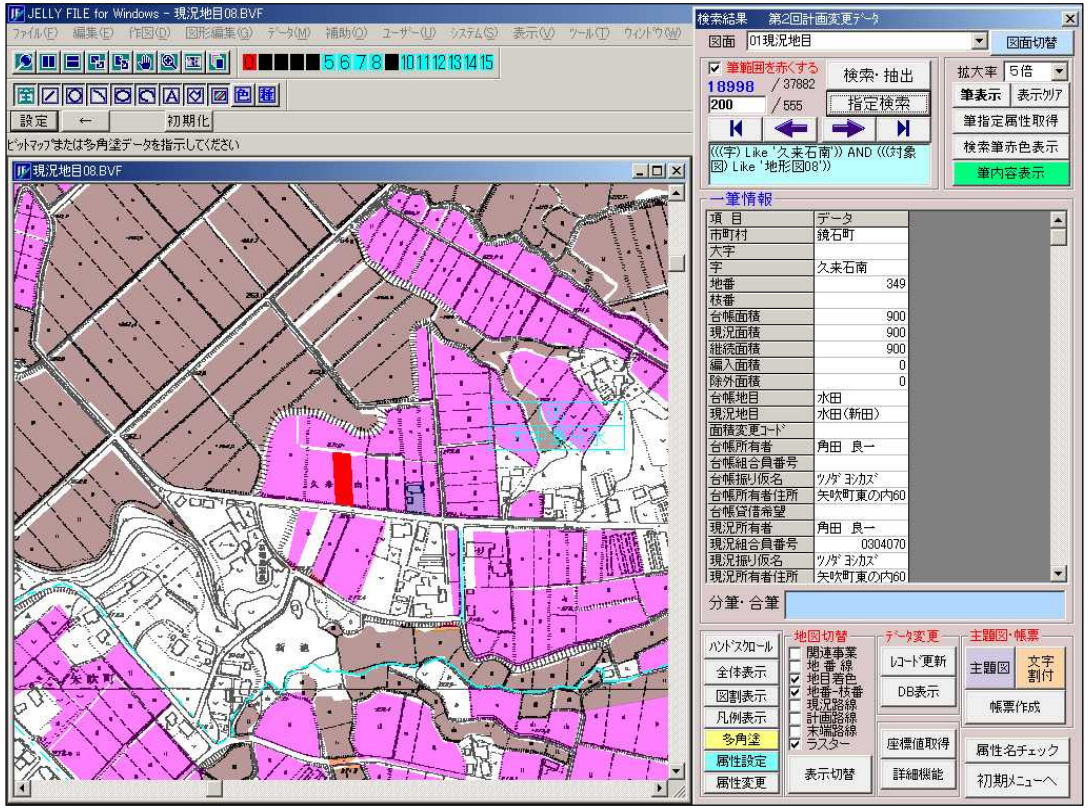
にそれぞれ移動します。

⑫「戻る」を押すと、起動される元のシステムに戻ります。

農地情報管理システム10（検索結果）

検索結果を表示するプログラムです。

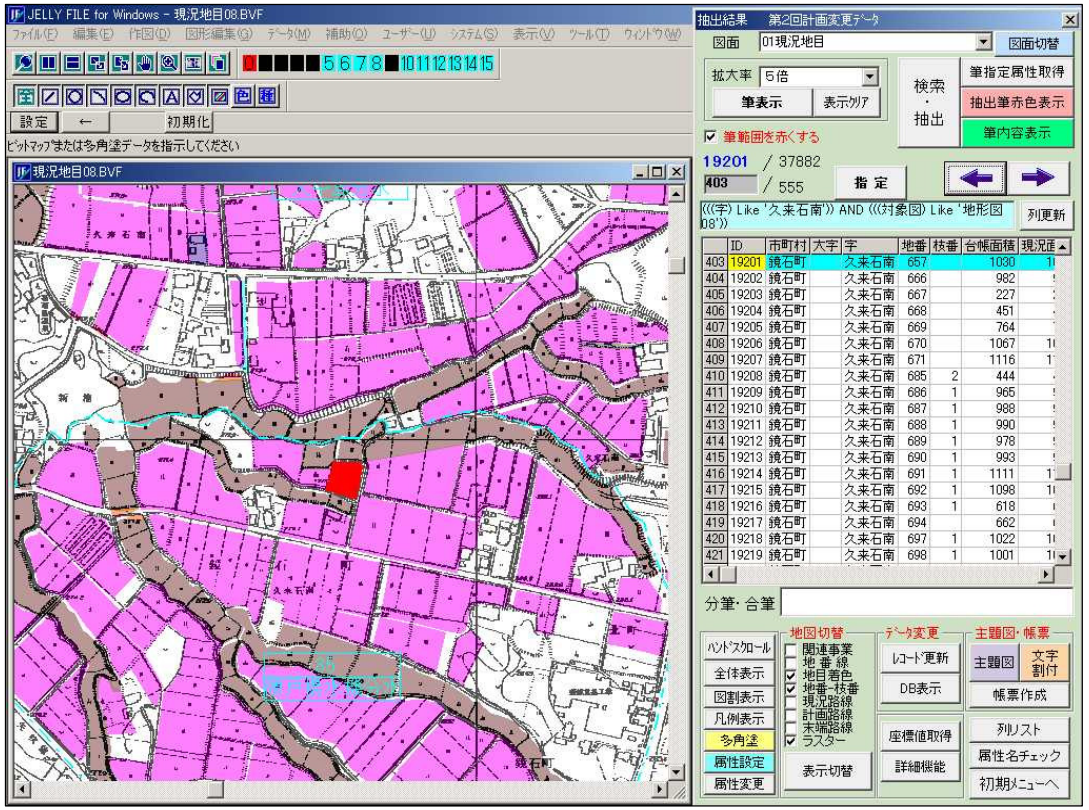
①検索行番号ﾃｷｽﾄに行番号を入力し「指定検索」ボタンをおすと、その行番号に移動します。
②「←」ボタンを押すと、前の検索行に移動します。
③「→」ボタンを押すと、次の検索行に移動します。
④拡大率を設定し「筆表示」ボタンを押すと、その拡大率で表示します。
⑤「筆指定属性取得」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸすると、その筆に移動します。
（※検索結果に指定した筆が含まれる場合のみ有効）
⑥「検索筆赤色表示」ボタンを押すと、検索した全筆を赤く表示します。
（※現在表示している地形図の範囲内の筆に限る）
⑦「筆内容表示」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸするとその筆のCAD情報が表示されます。
⑧地図切替ﾌｫｰﾑ内の各種ﾚｲﾔﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付け「表示切替」を押すと、ﾁｪｯｸを付けたﾚｲﾔ設定で表示します。
⑨「ﾚｺｰﾄﾞ更新」を押すと、表示筆の情報を更新します。
⑩「DB表示」を押すと、使用しているﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽを表示します。
⑪図面欄の図面種類を選択し「図面切替」ﾎﾞﾀﾝで切替わります。
⑫「座標値取得」を押すと、システム７を起動します。
⑬「詳細機能」を押すと、システム８を起動します。
⑭「初期ﾒﾆｭｰへ」ボタンで、システム６に戻ります。
⑮「主題図」を押すと、システム13-1へ移動します。
⑯「文字割付」を押すと、システム15-1へ移動します。



農地情報管理システム11（抽出結果 通常表示）

抽出結果を表示するプログラムです。

①抽出結果一覧表の行を指定し「指定」ボタンを押すと
その行のIDに移動します。
②「←」ボタンを押すと、前の抽出行に移動します。
③「→」ボタンを押すと、次の抽出行に移動します。
④拡大率を設定し「筆表示」ボタンを押すと、その拡大率
で表示します。
⑤「筆指定属性取得」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸする
と、その筆に移動します。
（※抽出結果に指定した筆が含まれる場合のみ有効）
⑥「抽出筆赤色表示」ボタンを押すと、抽出した全筆を赤
く表示します。
（※現在表示している地形図の範囲内の筆に限る）
⑦「筆内容表示」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸすると
その筆のCAD情報が表示されます。
⑧地図切替ﾌｫｰﾑ内の各種ﾚｲﾔﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付け「表示
切替」を押すと、ﾁｪｯｸを付けたﾚｲﾔ設定で表示します。
⑨「ﾚｺｰﾄﾞ更新」を押すと、表示筆の情報を更新します。
⑩「DB表示」を押すと、使用しているﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽを表示します。
⑪図面欄の図面種類を選択し「図面切替」ﾎﾞﾀﾝで切替わります。
⑫「座標値取得」を押すと、システム７を起動します。
⑬「詳細機能」を押すと、システム８を起動します。
⑭「初期ﾒﾆｭｰへ」ボタンで、システム６に戻ります。
⑮「主題図」を押すと、システム13-1へ移動します。
⑯「文字割付」を押すと、システム15-1へ移動します。



農地情報管理システム12（抽出結果 最大化表示）

抽出結果を最大化で表示するプログラムです。

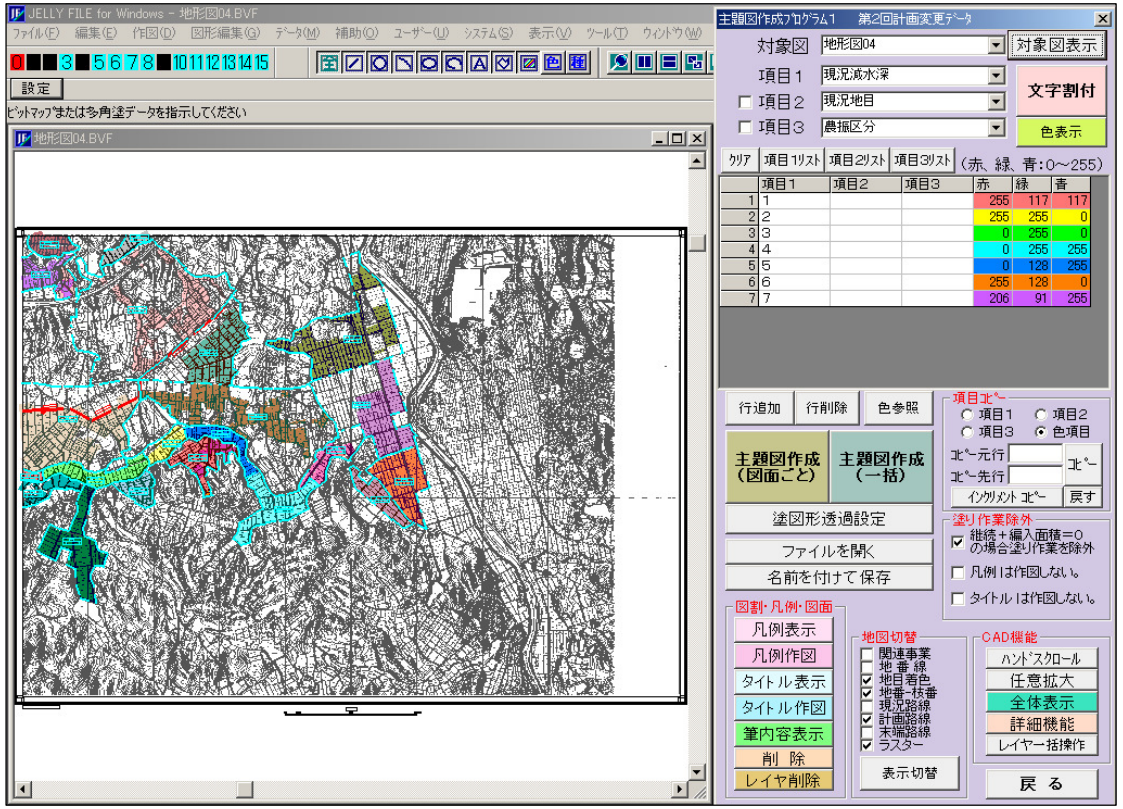
システムの機能は、システム11と同じです。

①抽出結果一覧表の行を指定し「指定」ボタンを押すと
その行のIDに移動します。
②「←」ボタンを押すと、前の抽出行に移動します。
③「→」ボタンを押すと、次の抽出行に移動します。
④拡大率を設定し「筆表示」ボタンを押すと、その拡大率
で表示します。
⑤「筆指定属性取得」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸすると、その筆に移動します。
（※抽出結果に指定した筆が含まれる場合のみ有効）
⑥「抽出筆赤色表示」ボタンを押すと、抽出した全筆を赤く表示します。
（※現在表示している地形図の範囲内の筆に限る）
⑦「筆内容表示」ボタンを押し、CAD上の筆をｸﾘｯｸするとその筆のCAD情報が表示されます。
⑧地図切替ﾌｫｰﾑ内の各種ﾚｲﾔﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付け「表示切替」を押すと、ﾁｪｯｸを付けたﾚｲﾔ設定で表示します。
⑨「ﾚｺｰﾄﾞ更新」を押すと、表示筆の情報を更新します。
⑩「DB表示」を押すと、使用しているﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽを表示します。
⑪図面欄の図面種類を選択し「図面切替」ﾎﾞﾀﾝで切替わります。
⑫「座標値取得」を押すと、システム７を起動します。
⑬「詳細機能」を押すと、システム８を起動します。
⑭「初期ﾒﾆｭｰへ」ボタンで、システム６に戻ります。
⑮「主題図」を押すと、システム13-1へ移動します。
⑯「文字割付」を押すと、システム15-1へ移動します。

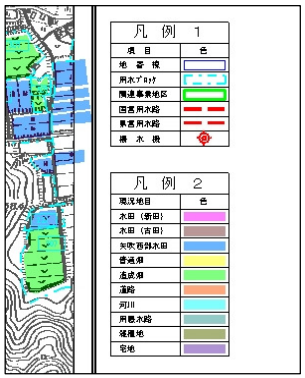
農地情報管理システム13-1（主題図作成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ１）

各種の主題図（着色図）を作成するプログラムです。

①対象図欄に主題図を作成する基となる地形図を選択し
開かれていない場合「対象図表示」ボタンを押します。
②項目１ 及び必要に応じ、項目２、項目３ を選択します。
（※項目２、項目３ を選択した場合には、ﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽに
ﾁｪｯｸを付けます）
③選択した項目に関するﾃﾞｰﾀのﾘｽﾄを表示するには
「項目〇ﾘｽﾄ」ボタンを押します。
④継続面積＋編入面積＝０ の筆を着色しない場合、塗り作業
除外のﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付けます。
⑤色ﾊﾟﾀｰﾝ表で指定した以外の筆を着色しない場合、塗り作業
除外のﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付けます。
⑥「主題図作成（図面ごと）」ボタンで塗り作業を開始します。
作業を行う図面は選択した図面に対して行います。
⑦「主題図作成（一括）」ボタンで塗り作業を開始します。
作業を行う図面は選択した図面以降を一括で行います。
⑧「塗図形透過設定」ボタンで塗図形を透過ＯＮに設定します。
⑨「凡例作図」ボタンでﾃﾞｰﾀを基に、凡例１、凡例２ を新規
に作図します。
（※この際、既に作図されている凡例１、凡例２ を削除
しておく必要があります）
⑩「ﾀｲﾄﾙ作図」ボタンでﾃﾞｰﾀを基に、ﾀｲﾄﾙ、ﾀｲﾄﾙ下線 を新規
に作図します。
（※この際、既に作図されているﾀｲﾄﾙ、ﾀｲﾄﾙ下線 を削除
しておく必要があります）
⑪「ﾌｧｲﾙを開く」で登録済の色ﾊﾟﾀｰﾝﾌｧｲﾙを開きます。
⑫「名前を付けて保存」で表示されている色ﾊﾟﾀｰﾝﾌｧｲﾙを登録
できます。
⑬「削除」を押すと、ﾏｳｽ左下、右上の範囲内の図形を削除
します。
⑭「ﾚｲﾔ削除」を押すと、ｻﾌﾞﾒﾆｭｰで指定したﾚｲﾔ層内のﾃﾞｰﾀ
をすべて削除します。
⑮「文字割付」を押すと、システム15-1を起動します。
⑯「戻る」を押すと、起動される元のシステムに戻ります。



凡例部分



農地情報管理システム13-2（主題図作成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ２）

各種の主題図（着色図）を作成するプログラムです。

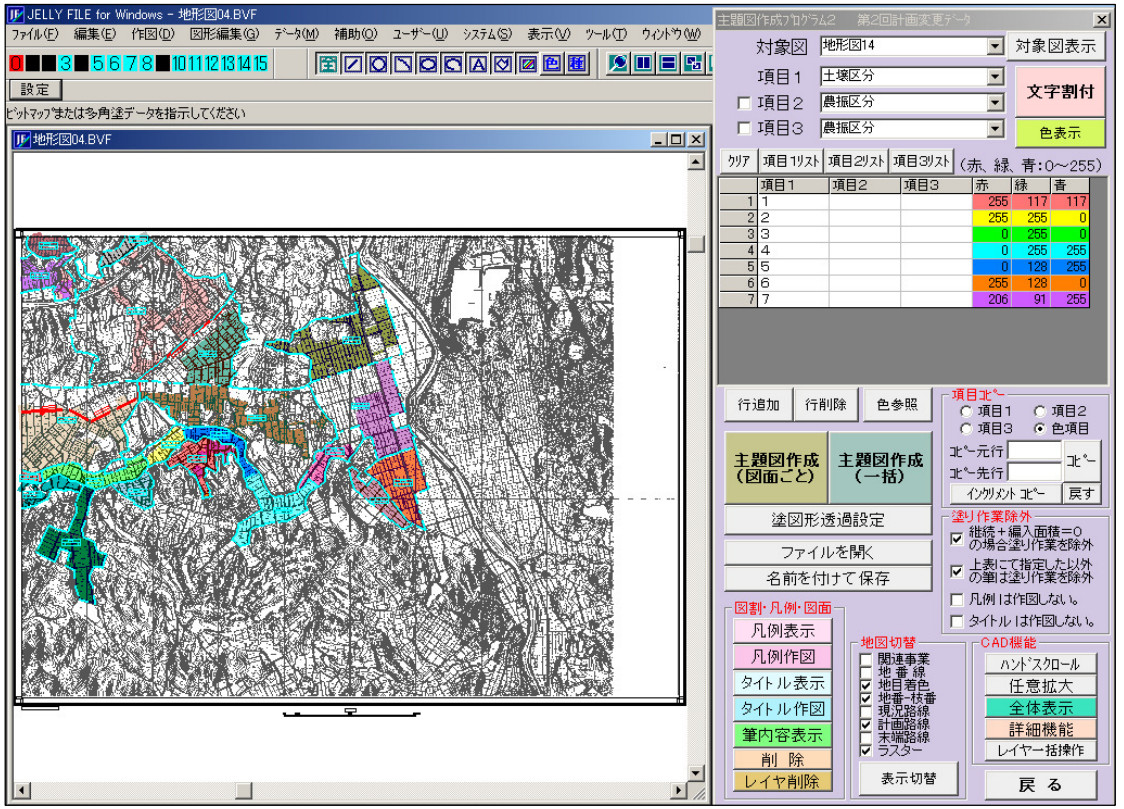
基本的にシステム13-1（主題図作成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ１）と同じですが、下記の着色図を作成する際にこのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを使用します。

用水系統番号着色図

耕区番号着色図

区域番号着色図

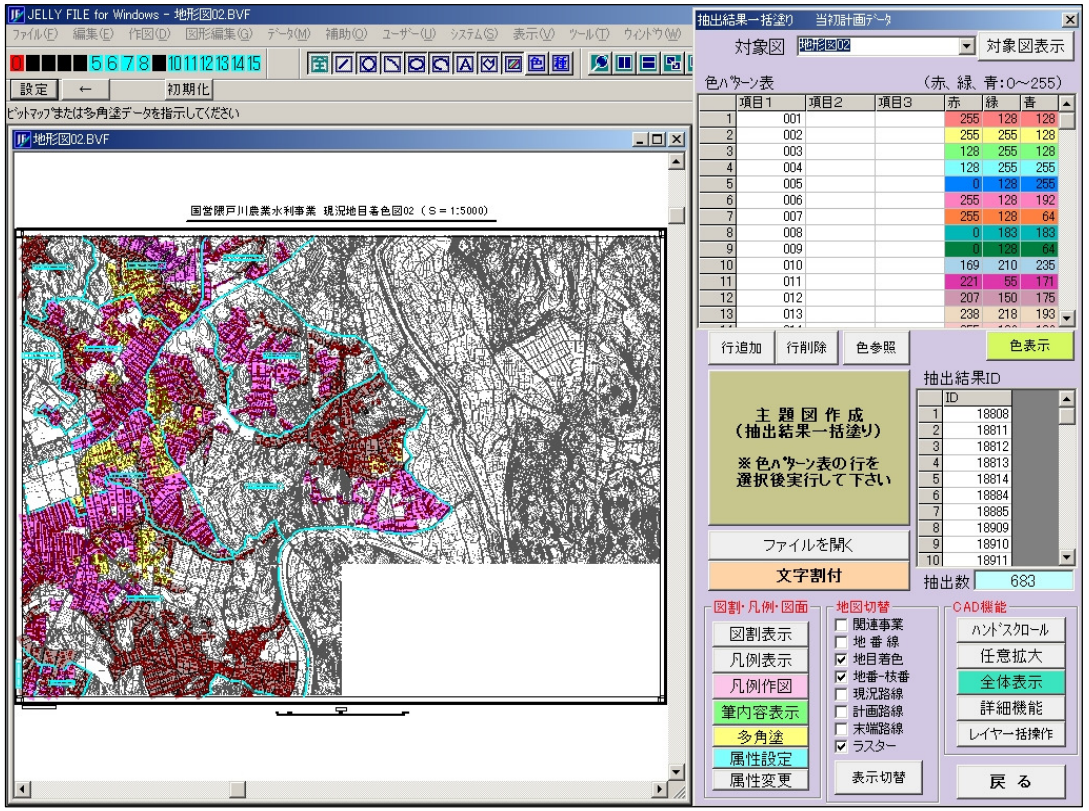
字着色図



農地情報管理システム14（抽出結果一括塗り）

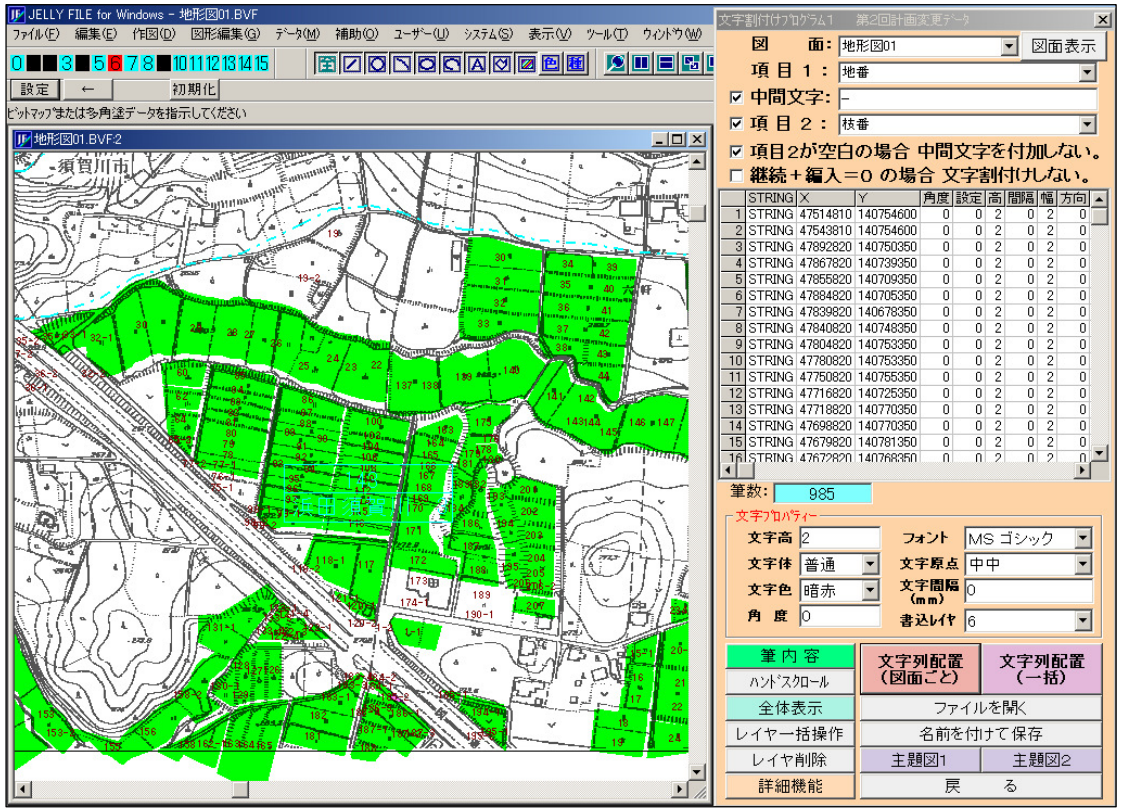
システム９ の抽出結果の筆を指定した色で着色するプログラムです。

①対象図欄に主題図を作成する基となる地形図を選択し
　開かれていない場合「対象図表示」ボタンを押します。
②色ﾊﾟﾀｰﾝ表で着色する色（RGB3原色）を設定します。
③色ﾊﾟﾀｰﾝ表の着色する色の行を選択します。
④「主題図作成」ボタンで一括塗りを実行します。
⑤「文字割付」を押すと、システム15-1を起動します。
⑥「戻る」を押すと、起動される元のシステムに戻ります。



農地情報管理システム15-1（文字割付けﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ１）

主題図（着色図）に文字を割り付けるプログラムです。



①図面欄に文字を割り付けるとなる地形図または地番図を選択し、開かれていない場合「図面表示」ボタンを押します。

（※別の名前で登録されている図面を開くには

ﾌｧｲﾙ → 開く で図面を開きます）

②項目１ 及び必要に応じ、項目２ を選択、中間文字を入力します。

（※中間文字、項目２ を選択入力した場合には

ﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付けます）

（※例：地番－枝番 を割付けたい場合には、項目１:地番 中間文字:－、項目２:枝番 という具合に指定します）

③項目２のデータが空白だった場合、中間文字を割付けないようにしたい場合には、「項目２が空白の時は中間文字を付加しない」にﾁｪｯｸを付けます。

④継続面積＋編入面積＝０ の筆を着色しない場合、塗り作業除外のﾁｪｯｸﾎﾞｯｸｽにﾁｪｯｸを付けます。

⑤文字ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨｰを設定します。

基本設定

文字高	2	フォント	MSｺﾞｼｯｸ
文字体	普通	文字原点	中下
文字色	暗赤	文字間隔	0
角度	0	書込ﾚｲﾔ	6

⑥「文字列配置（図面ごと）」ボタンで文字割付けを開始します。作業を行う図面は選択した図面に対して行います。

⑦「文字列配置（一括）」ボタンで文字割付けを開始します。作業を行う図面は選択した図面以降を一括で行います。

⑧「主題図１」ボタンでシステム13-1を起動します。

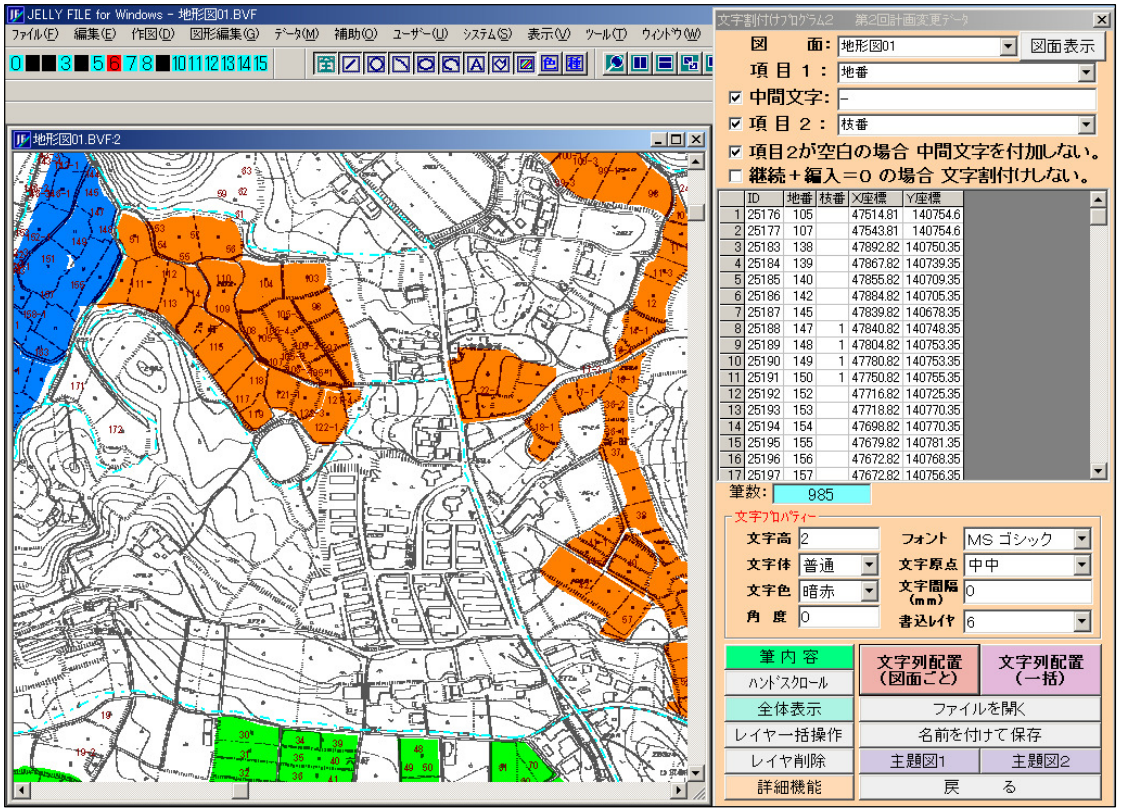
⑨「主題図２」ボタンでシステム13-2を起動します。

⑩「戻る」を押すと、起動される元のシステムに戻ります。

農地情報管理システム15-2（文字割付けﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ２）

主題図（着色図）に文字を割り付けるプログラムです。

基本的にシステム15-1（文字割付けﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ１）と同じですが、旧方式で文字割付けを行う際にこのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを使用します。



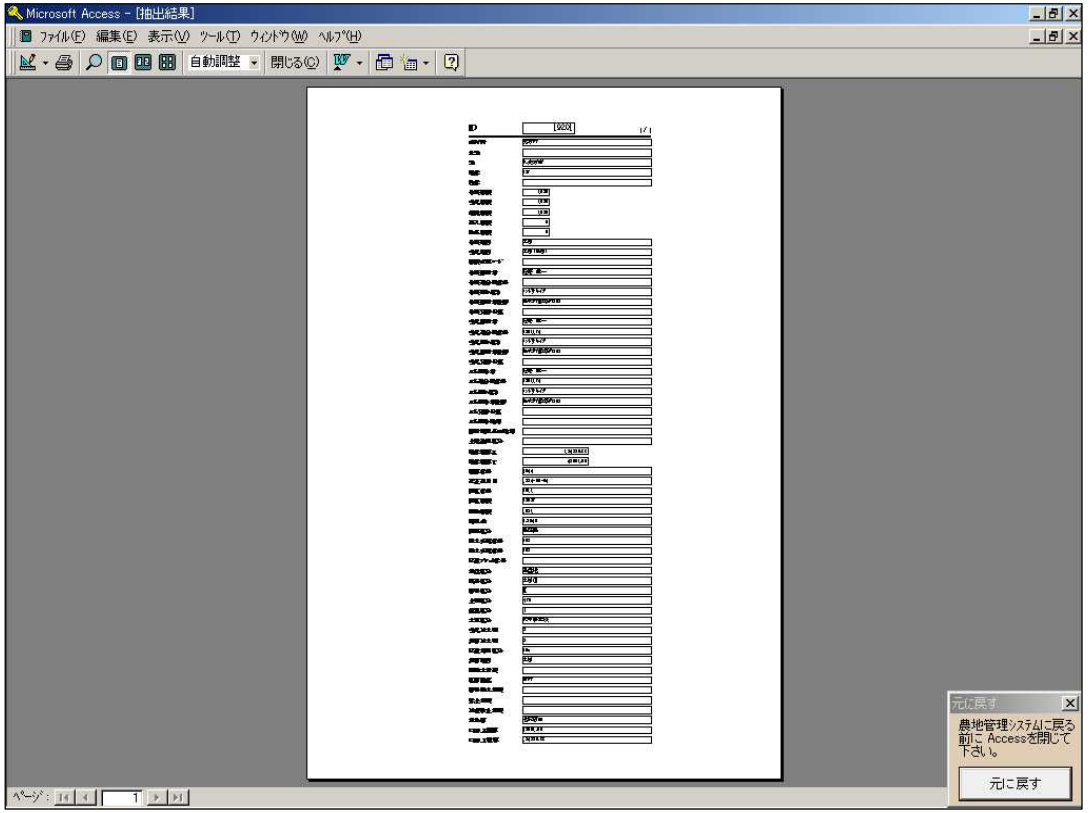
	ID	地番	枝番	X座標	Y座標
1	25176	105		47514.81	140754.6
2	25177	107		47543.81	140754.6
3	25183	138		47892.82	140750.35
4	25184	139		47867.82	140739.35
5	25185	140		47855.82	140709.35
6	25186	142		47884.82	140705.35
7	25187	145		47839.82	140678.35
8	25188	147	1	47840.82	140748.35
9	25189	148	1	47804.82	140753.35
10	25190	149	1	47780.82	140753.35
11	25191	150	1	47750.82	140755.35
12	25192	152		47716.82	140725.35
13	25193	153		47718.82	140770.35
14	25194	154		47698.82	140770.35
15	25195	155		47679.82	140781.35
16	25196	156		47672.82	140768.35
17	25197	157		47672.82	140756.35

農地情報管理システム16（単票形式筆一覧表）

単票形式で一筆の各種ﾃﾞｰﾀ内容の表を作成するプログラムです。

①印刷する場合は、ﾌｧｲﾙ → 印刷 でプリンタを設定しＯＫﾎﾞﾀﾝを押します。

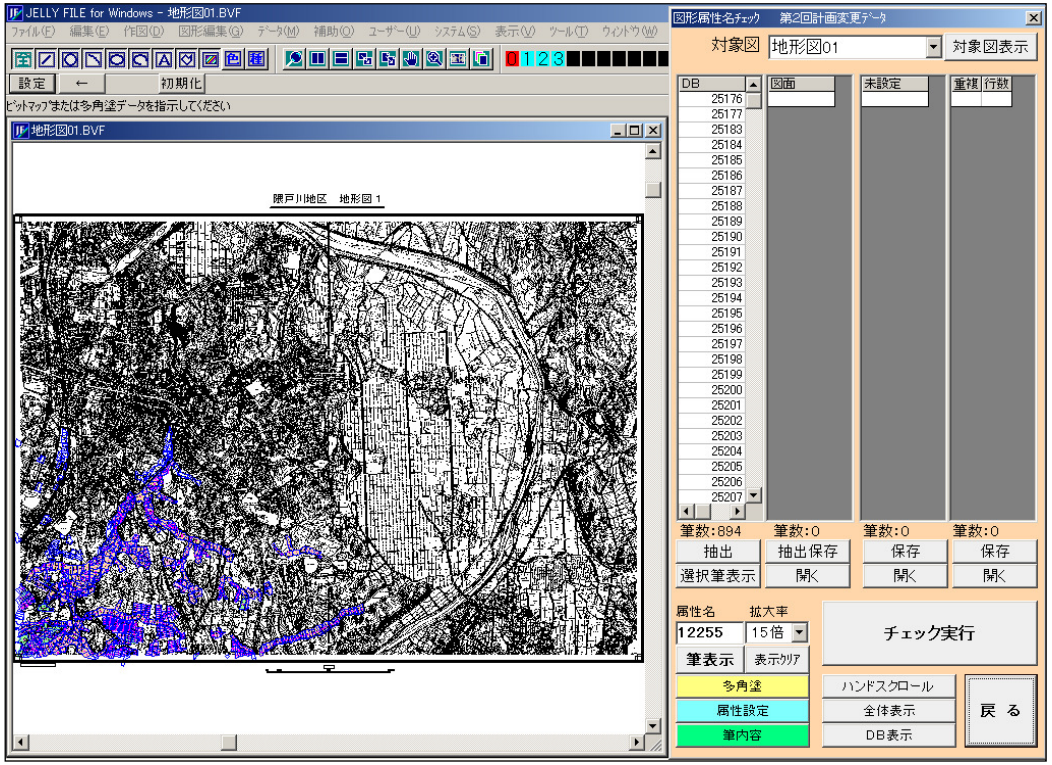
②農地情報管理ｼｽﾃﾑに戻るには、画面右下の「元に戻す」ﾎﾞﾀﾝを押します。



農地情報管理システム17（図形属性名チェック）

塗図形の未設定属性、重複属性をﾁｪｯｸするプログラムです。

①対象図欄に主題図を作成する基となる地形図を選択し開かれていない場合「対象図表示」ボタンを押します。
②ＤＢ欄の「抽出」ボタンで、選択ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ内の指定地形図のIDﾃﾞｰﾀを抽出します。
③図面欄の「抽出保存」ボタンで、開かれている図面から属性設定済のIDﾃﾞｰﾀを抽出します。
④図面欄の「開く」ボタンで、③で保存されたﾃﾞｰﾀを表に読込ます。
⑤「チェック実行」ボタンで、チェックを開始します。
⑥ﾁｪｯｸが終了し、未設定欄に表示されたIDが、開かれている図面内で、未設定の筆を示しています。
⑦重複欄に表示されたIDが、開かれている図面内で、重複して設定している筆を示しています。
⑧必要に応じ、未設定、重複のID表を「保存」ボタンで登録します。
⑨「戻る」を押すと、起動される元のシステムに戻ります。



受益面積集計システム１（メインプログラム）

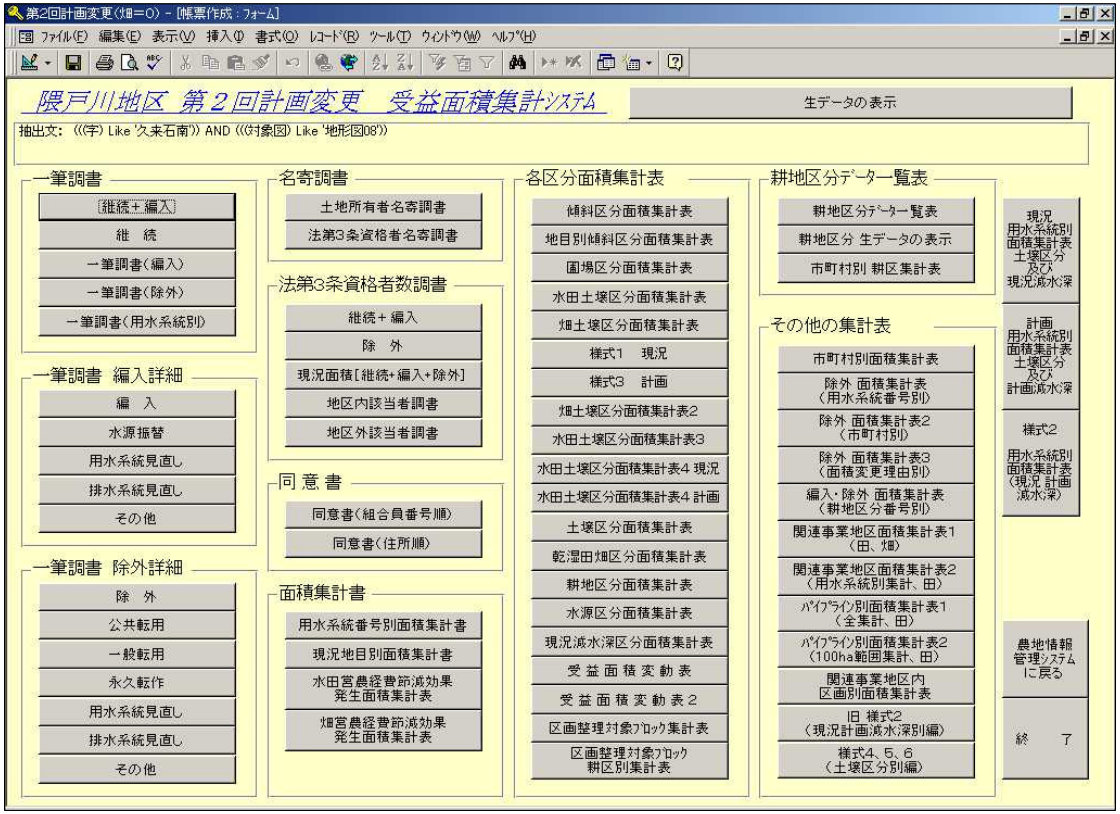
農地情報管理システムの「帳票作成」及び「ＤＢ表示」ボタンで、受益面積集計システムが起動されます。

この受益面積集計システムは、データベースの本体であり各種面積集計表を作成します。

受益面積集計システムは下記の３種類があります。

1．当初計画　　受益面積集計ｼｽﾃﾑ（平成４年３月現在）
2．第１回計画変更　受益面積集計ｼｽﾃﾑ（平成９年７月現在）
3．第２回計画変更　受益面積集計ｼｽﾃﾑ（平成14年７月現在）

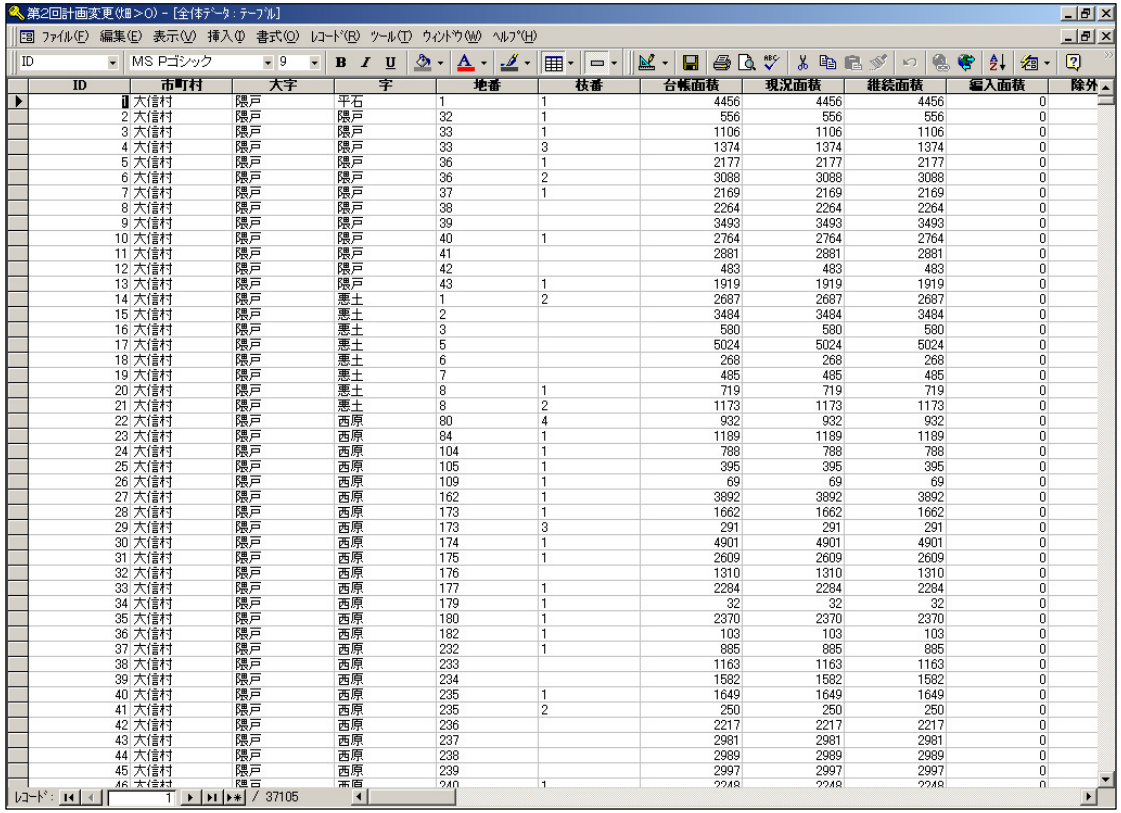
①「生ﾃﾞｰﾀの表示」ﾎﾞﾀﾝで、生ﾃﾞｰﾀ一覧を表示します。
②ＤＢ欄の「抽出」ボタンで、選択ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ内の指定地形図のIDﾃﾞｰﾀを抽出します。
③図面欄の「抽出保存」ボタンで、開かれている図面から属性設定済のIDﾃﾞｰﾀを抽出します。
④図面欄の「開く」ボタンで、③で保存されたﾃﾞｰﾀを表に読込ます。
⑤「チェック実行」ボタンで、チェックを開始します。
⑥ﾁｪｯｸが終了し、未設定欄に表示されたIDが、開かれている図面内で、未設定の筆を示しています。
⑦重複欄に表示されたIDが、開かれている図面内で、重複して設定している筆を示しています。
⑧必要に応じ、未設定、重複のID表を「保存」ボタンで登録します。
⑨「戻る」を押すと、起動される元のシステムに戻ります。



生データの一覧

生データとは、データベースの基本となる加工していない原データです。下記91項目からなります。

番号	ﾃﾞｰﾀ項目	番号	ﾃﾞｰﾀ項目	番号	ﾃﾞｰﾀ項目
1	ID	37	耕区番号	72	分水工区分
2	市町村	38	耕区面積	73	揚水機区分
3	大字	39	削除面積	74	ため池区分
4	字	40	転換率	75	パイプライン区分
5	地番	41	農振区分	76	資格交替理由
6	枝番	42	用水系統番号	77	資格交替年月日
7	台帳面積	43	排水系統番号	78	用水系統名
8	現況面積	44	反復ﾌﾞﾛｯｸ番号	79	旧3条資格者
9	継続面積	45	受益区分	80	旧3条組合員番号
10	編入面積	46	傾斜区分	81	旧3条振り仮名
11	除外面積	47	圃場区分	82	旧3条資格者住所
12	台帳地目	48	土壌区分	83	都市用途区分
13	現況地目	49	乾湿区分	84	施設番号1
14	面積変更ｺｰﾄﾞ	50	水源区分	85	施設名1
15	台帳所有者	51	現況減水深	86	施設番号2
16	台帳組合員番号	52	計画減水深	87	施設名2
17	台帳振り仮名	53	反復利用区分	88	施設番号3
18	台帳所有者住所	54	計画地目	89	施設名3
19	台帳貸借希望	55	用排水対策	90	用水系統名2
20	現況所有者	56	区画整理	91	権利カウント
21	現況組合員番号	57	圃場排水対策		
22	現況振り仮名	58	客土対策		
23	現況所有者住所	59	減産防止対策		
24	現況貸借希望	60	対象図		
25	3条資格者	61	CAD_X座標		
26	3条組合員番号	62	CAD_Y座標		
27	3条振り仮名	63	分筆・合筆		
28	3条資格者住所	64	地番図		
29	3条貸借希望	65	関連事業名		
30	3条資格権利	66	100ha範囲		
31	所有権以外の権利	67	区域番号		
32	土地改良区分	68	作土		
33	地番座標X	69	下層土		
34	地番座標Y	70	元地目		
35	座標番号	71	区画区分		
36	修正年月日	72	分水工区分		



抽出範囲出力、全体出力の選択

各集計表のほとんどは、抽出結果出力及び全体出力の
どちらかを選択し出力するようになっています。

①抽出結果出力

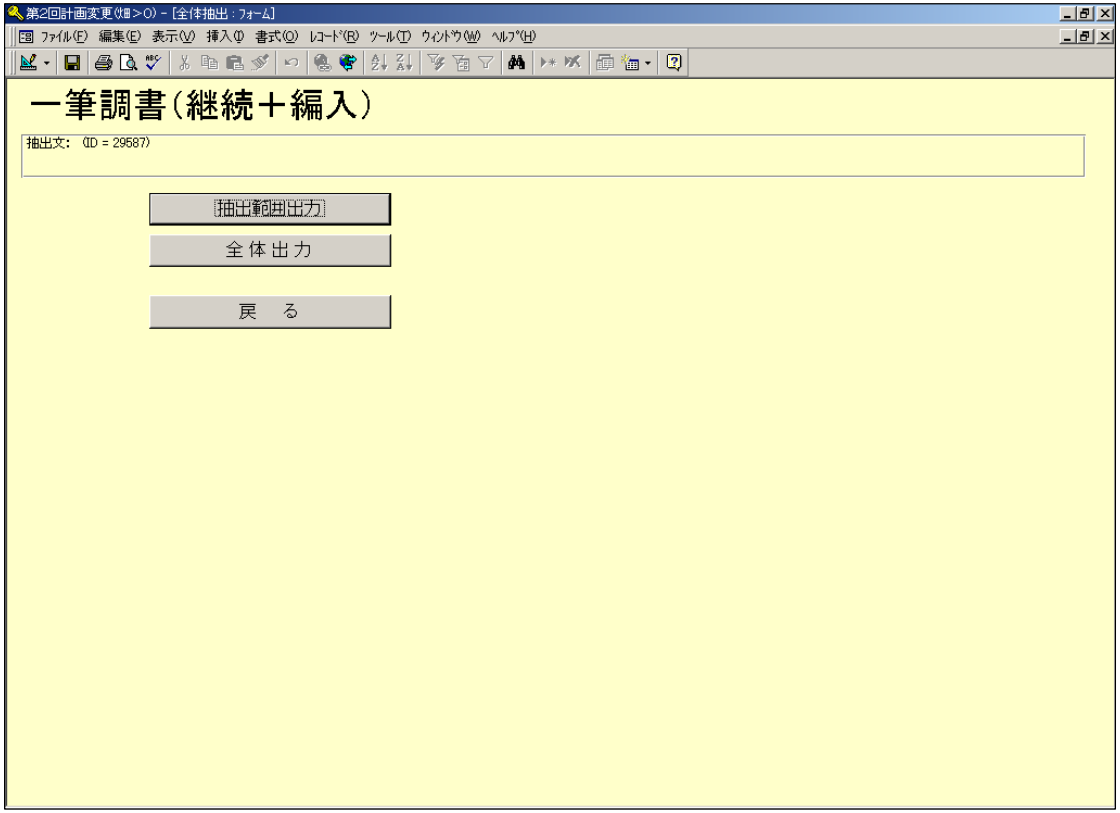
農地情報管理ｼｽﾃﾑの抽出結果（システム９にて）
を基に集計表を作成します。
抽出文ラベルに抽出した内容が表示されます。

②全体出力

データベース全体から集計表を作成します。

③戻る

受益面積集計システム１ に戻ります。



市町村の選択

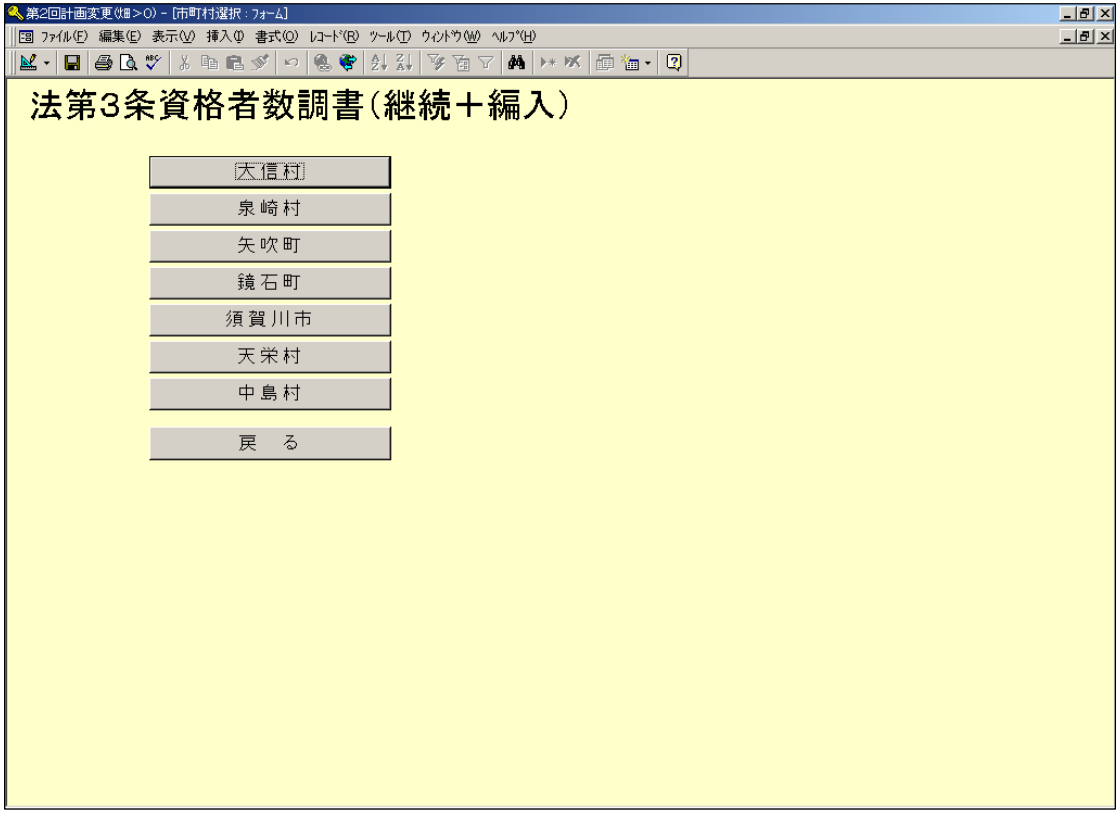
法第３条資格者数調書においては、市町村を選択し、その市町村範囲について集計表を作成するように設定されています。

①市町村選択

ﾎﾞﾀﾝに表示されている市町村範囲を抽出し、その範囲内で集計表を作成します。

②戻る

受益面積集計システム１ に戻ります。



現況、計画の選択

現況面積、計画面積のどちらで集計するかを選択するﾌｫｰﾑです。

このﾌｫｰﾑは、下記の集計表作成の際に表示されます。

1．受益面積変動表
2．受益面積変動表２
3．除外面積集計表２（市町村別）
4．関連事業地区内区画別面積集計表
5．旧様式２（現況計画減水深別編）
6．様式２ 用水系統別面積集計表（現況計画減水深）

①現況

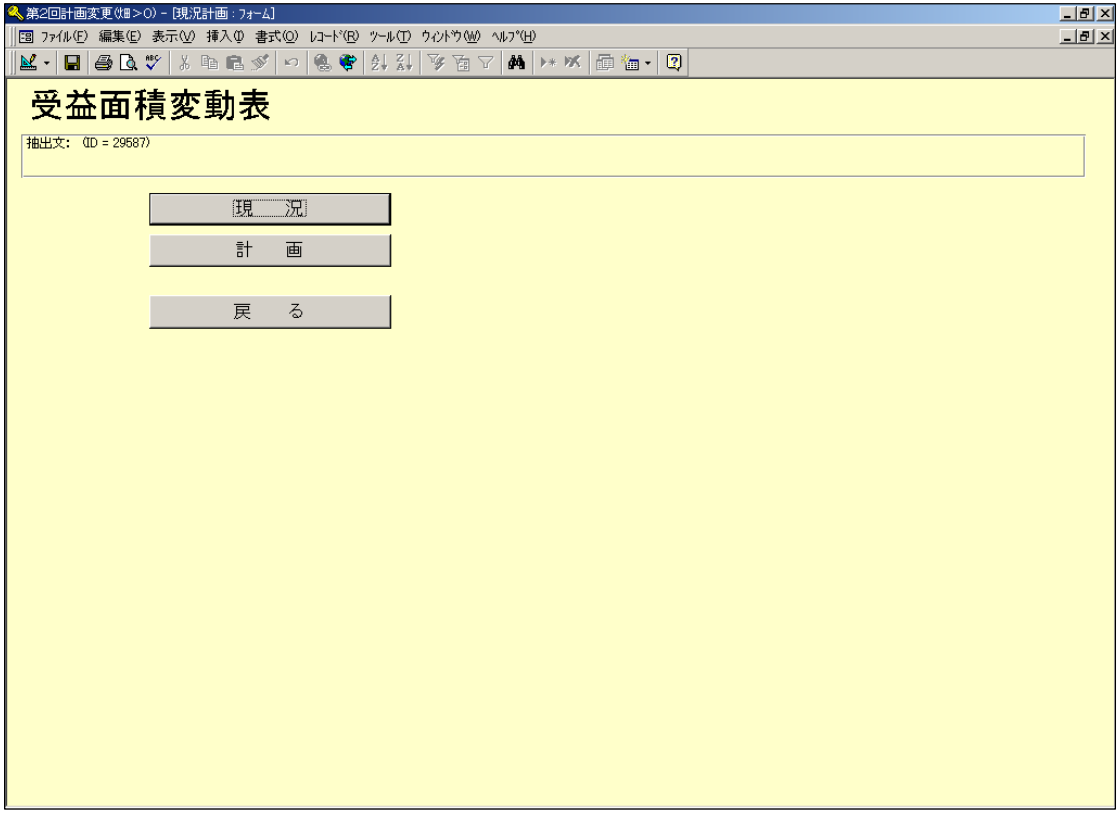
生データの面積をそのまま使用して集計表を作成します。

②計画

生データの面積に転換率（減歩率）をかけた値を使用して集計表を作成します。

③戻る

受益面積集計システム１ に戻ります。



※様式１、２、３ について

様式１：現況地籍用水系統別面積集計表（土壌区分別）
現況面積を土壌区分で振り分け、用水系統番号別に集計したもの。

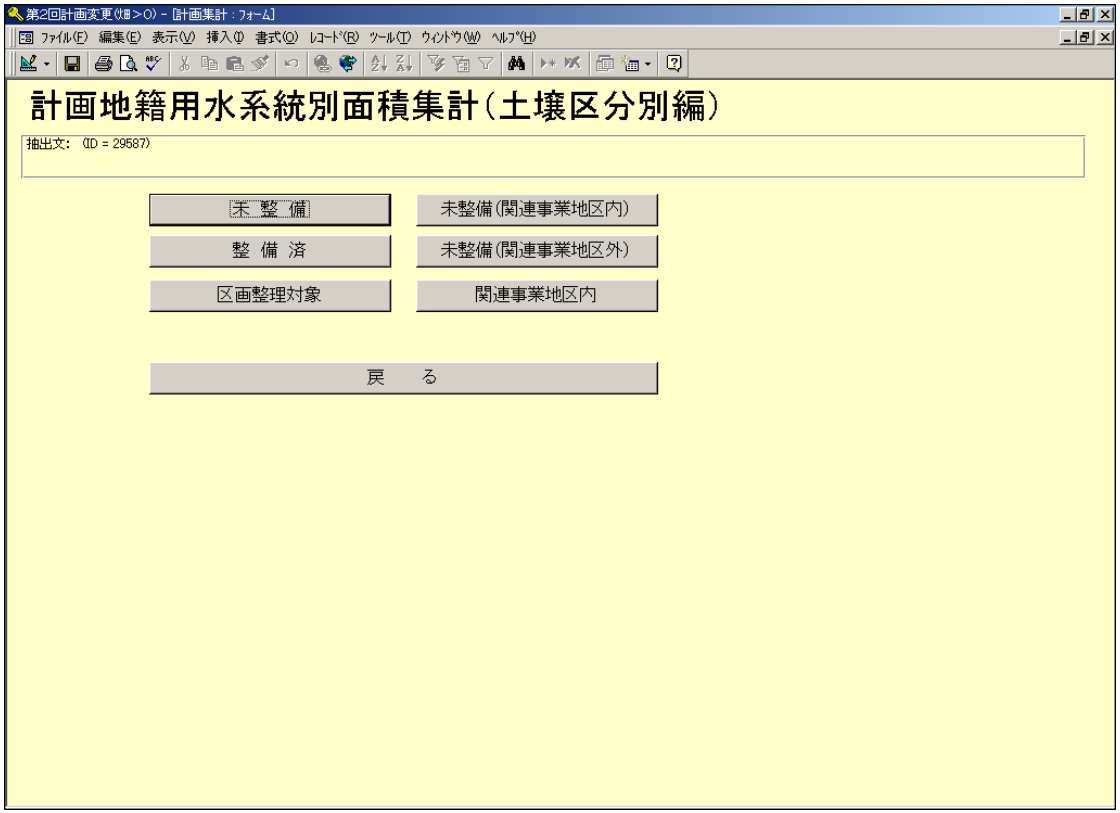
様式２（現況）：現況地籍用水系統別面積集計表（現況減水深別）
現況面積を現況減水深で振り分け、用水系統番号別に集計したもの。

様式２（計画）：計画面積用水系統別面積集計表（計画減水深別）
計画面積を計画減水深で振り分け、用水系統番号別に集計したもの。

様式３：計画面積用水系統別面積集計表（土壌区分別）
計画面積を土壌区分で振り分け、用水系統番号別に集計したもの。

様式４、５、６（土壌区分別編）

様式４、５、６（土壌区分別編）〔計画地籍用水系統面積集計〕では、右のようなﾌｫｰﾑが表示されます。



①未整備〔様式４〕

全受益から未整備（圃場区分：Ⅲ、Ⅵ、Ⅶ）を抽出し、計画面積の用水系統別集計表を作成します。

②未整備（関連事業地区内）〔様式4-1〕

関連事業地区内から未整備（圃場区分：Ⅲ、Ⅵ、Ⅶ）を抽出し、計画面積の用水系統別集計表を作成します。

③未整備（関連事業地区外）〔様式4-2〕

関連事業地区外から未整備（圃場区分：Ⅲ、Ⅵ、Ⅶ）を抽出し、計画面積の用水系統別集計表を作成します。

④整備済（関連事業地区外）〔様式５〕

関連事業地区外から整備済（圃場区分：Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ）を抽出し、計画面積の用水系統別集計表を作成します。

⑤区画整理対象（関連事業地区内）〔様式６〕

関連事業地区内から整備済（圃場区分：Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ）を抽出し、計画面積の用水系統別集計表を作成します。

⑥関連事業地区内〔様式4-1＋様式６〕

関連事業地区内のすべての筆を抽出し、計画面積の用水系統別集計表を作成します。

⑦戻る

受益面積集計システム１ に戻ります。

圃場区分内容

Ⅰ	「区画が整形化され、かつ用排水路が完備されているもの」のうち標準区画規模が30a以上のもの。
Ⅱ	「区画が整形化され、かつ用排水路が完備されているもの」のうち標準区画規模が10aを超え30a未満のもの。
Ⅲ	「区画が整形化され、かつ用排水路が完備されているもの」のうち標準区画規模が10a以下のもの。
Ⅳ	「区画が整形化されているが、用排水路が不備なもの」のうち標準区画規模が30a以上のもの。
Ⅴ	「区画が整形化されているが、用排水路が不備なもの」のうち標準区画規模が10aを超え30a未満のもの。
Ⅵ	「区画が整形化されているが、用排水路が不備なもの」のうち標準区画規模が10a以下のもの。
Ⅶ	未整理(区画が整形化されていないもの。)

現況及び計画減水深の選択

現況用水系統面積集計表（土壌区分及び現況減水深）並びに計画用水系統面積集計表（土壌区分及び計画減水深）では、右のようなﾌｫｰﾑが表示されます。

①現況の場合

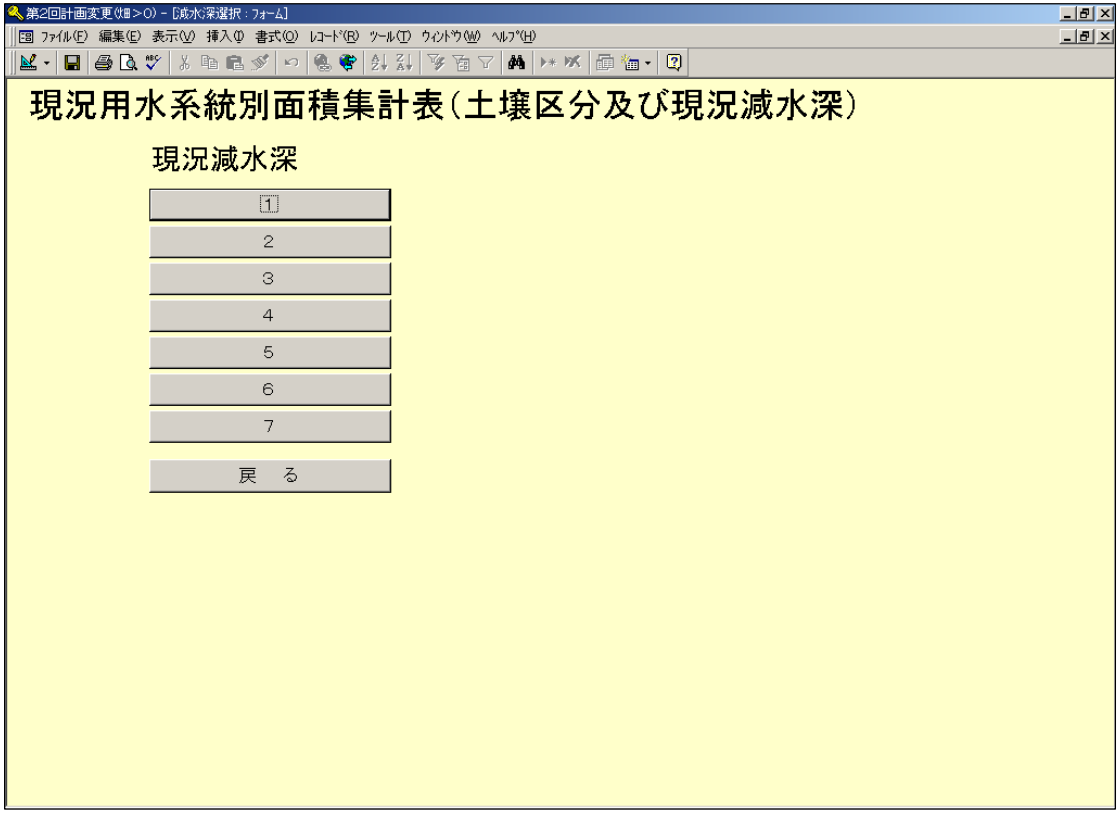
ボタンに応じ、現況減水深＝１～７ のものを抽出し現況面積の用水系統別集計表を作成します。

②計画の場合

ボタンに応じ、計画減水深＝１～７ のものを抽出し計画面積の用水系統別集計表を作成します。

③戻る

受益面積集計システム１ に戻ります。



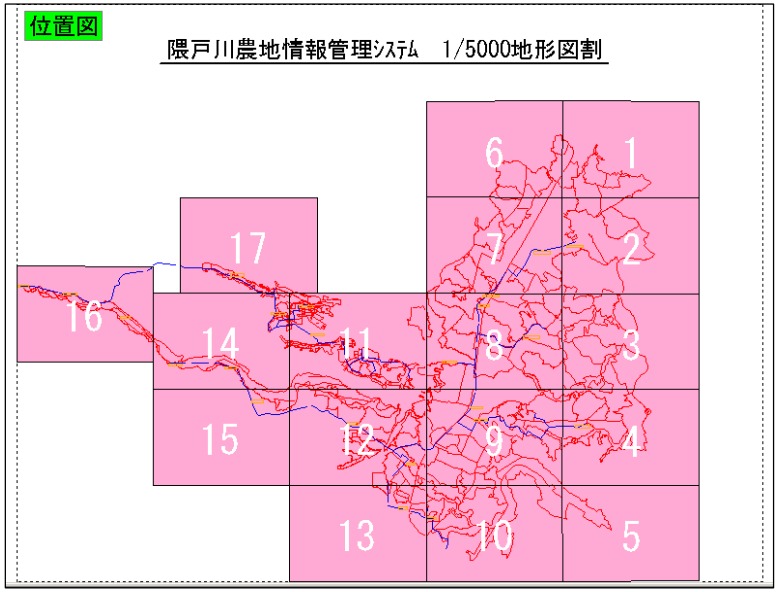
図割の表示

農地情報管理システムの各ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑにおいて「図割表示」ボタンを押すと、右のような1/5000地形図割が表示されます。

①各地形図の図枠内の塗図形（ﾋﾟﾝｸ色）をｸﾘｯｸすると第２回計変の対応地形図（現況地目着色図）が表示されます。

②図面左上の位置図の塗図形（緑色）をｸﾘｯｸすると県内位置図が表示されます。

図割



県内位置図の表示

農地情報管理システムの各ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑにおいて「図割表示」ボタンを押すと、右のような1/5000地形図割が表示されます。

①図面左上の図割の塗図形（緑色）をｸﾘｯｸすると1/5000地形図割が表示されます。

位置図